

季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗（本門流）
本覺山妙壽寺が発行する寺報です。
檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。



平成 24 年 6 月 10 日発行



本覺山 妙壽寺 〈法華宗（本門流）〉

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1
電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427
ホームページ <http://myojyuji.or.jp>

動物廟開廟



3 月 20 日、彼岸会中日合同法要において、初座終了後の正 12 時、動物廟落慶開廟法要を奉修いたしました。
開設の動物廟は、昨年 11 月 3 日に旧動物廟より移設したもので、堂内御宝前等を整備し、この度の落慶開廟の運びとなりました。動物廟（管理棟 2 階）裏庭の動物廟合同墓所も昭和 3 年 9 月、当山先々代大僧正日照上人が建立、盛高家ご寄進の墓石を整備拡張して、合葬墓としてご使用いただけることとなりました。
今後は広くお檀家の皆様に愛玩のペット等、ご納骨ご散骨いただけることと存じます。詳しくは当山寺務所にお問合わせください。



無縁社会と寺縁その 7

四月半ば、東日本大震災（東北地方太平洋沖地震・大津波）から四百日が経過いたしました。日本列島は桜前線が南下し、東北地方も爛漫の桜が彩っておりました。各地のお花見に過去最高の人出の賑わいを呈する中、他方、大地震・大津波・原発事故の被災地はその復興復旧がなかなか捗らない現状をどのように考えたら良いのでしょうか。
NHK 朝の連続テレビ小説は終戦直後の東京蒲田の焼け跡、ヤミ市の様子を再現しております。当時を知る方々のお話によると、日本の国民が、都市、農村の別はともかくとして、戦争の惨禍を共有していたと。
しかし、今回の大震災は、東北地方の人々の苦難を全国民が報道メディアによって、唯、居ながらにして、それぞれに受け止めているというのが現状です。
早くも被災の風化がいわれる中、この自然災害、そしてあるいは防げられたであろう人災を、正しく検証し、展望もてる復興を進めるために、国民一人ひとりがそれぞれの立場で何らかの形で協力し支援すべきだと思います。固有の文化歴史を共有する我々の一体感について思いをめぐらす、今日この頃であります。

東京スカイツリー開業

開業の翌々日 5 月 24 日、猿江稲荷よりスカイツリーを望む。妙壽寺は寛文元年（1661）に上野池之端より猿江稲荷の別当として深川猿江（現江東区猿江 2 丁目）に移転。大正 12 年（1923）関東大震災で現在地に移転するまでこの地にありました。



寿の寺日記

● 2 月 18 日
朝霞教会（住職・相沢龍正上人）にて先代上人御内室信聰院妙松日因大姉第十七回忌法要奉修。
● 3 月 5 日・8 日
東京ブディストクラブ（須藤大恵会長）、マレーシア・ジョホールバル日本人墓地慰霊祭、シンガポール旅行。当住上人参加。
● 3 月 11 日
東日本大震災一周忌追悼慰霊法要、北茨城市成願寺にて。当住上人、佐々木明乗上人、梅原正隆上人、大坪顕孝師、中島正幸氏他、二百余名参列（写真裏面）。
● 3 月 12 日
宮城県名取市・閑上、仙台市若林区・荒浜、法華宗東北教区主催の一周忌巡拝法要奉修。当住上人、佐々木木上人、大坪師、中島氏参拝。
● 3 月 17 日・23 日
妙壽寺檀信徒書道展開催。
● 3 月 20 日
春季彼岸会中日合同法要・動物廟開廟法要奉修（上記参照）彼岸中に六百余名参拝。
● 3 月 27 日
世田谷区無縁物故者慰霊法要、於世田谷区・豪徳寺。当住上人参列。



盛高勢以法尼（浄徳院妙勢日嚴善法尼）第五十回忌法要



猿江稲荷大明神例大祭法要。参加の檀信徒と近隣氏子の方々



桑港日蓮教会メンバー 鈴木友子様（草月流）の作品（5月2日、会場 グランドパシフィック ホテルにて）

● 3 月 31 日
徳島県脇町本覚寺輪番法要奉修、当住上人出仕。稚児行列五十余名。
● 4 月 5 日
鳥山仏教会第 82 回花まつり降誕会法要、導師永隆寺（会場）住職木下信隆上人、副導師当住上人、同常福寺津山乗信上人。
● 4 月 8 日
桑港日蓮教会、春季彼岸会・花まつり釈尊降誕会法要、併せて開基石田日天上人第十七回忌法要奉修。当住上人、園田顕敦師渡米。
● 4 月 21 日
盛高勢以法尼（藤沢市晴明庵開基二世・当山昭和新建大檀越）第五十回忌法要奉修。福島立正院矢吹泰英上人、大阪妙道寺高橋顕昭上人等ご臨席、総代関係各位 40 名参列。
● 4 月 23 日
藤沢市晴明庵報恩法要（給仕の嬬大姉供養法要、元総代柳沢君子先生法号授与式）
● 4 月 29 日
福島市立正院鬼子母神大祭法要。稚児行列三十余名。
● 5 月 1 日
猿江稲荷大明神例大祭法要、十七名参列。
● 5 月 12 日
正隆会、小江戸川越ウォーク、喜多院、本丸御殿、昼食「ささ川」、時の鐘、蔵づくりの街並み等、三十名にて見学ウォーク。
● 5 月 15 日
尼崎市大本山本興寺御貫首小西日邊親下管長推薦式。当住上人等二百余名参列。
● 5 月 19 日
京都大本山妙蓮寺塔頭本妙院先代上人御内室ごないしつ円徳院妙満日富大姉第一周忌奉修。当住上人出仕。
● 5 月 22 日・24 日
法華宗宗議会、於人形町宗務院。当住上人、東京教区宗会議員として出席。

予告 代々木果廻会別会 竹灯籠能「葵上」、当山本堂にて上演



昨年 6 月、当山開闢以来、初めてとなった奉納の能楽が本堂御宝前において披露され、二百余名の参会者を得て好評を博しました。今後是非継続して欲しいというお声を多くいただき、第 2 回として「葵上」を上演する運びとなりました。本堂という荘厳空間で、様々な工夫を凝らし、皆さまに楽しんでいただきます。また、開演前午後 3 時 30 分（予定）にはレクチャーを行います。（後日詳報）

会期／平成 24 年 10 月 14 日（日）午後 5 時 30 分・会場／妙壽寺本堂

予告 平成 25 年 5 月 関西二大本山（本能寺・本興寺）門祖日隆聖人 第 550 遠忌大法要巡拝旅行（後日詳細ご案内）

妙壽寺 2012 夏・秋スケジュール

7 月 16 日 月 祭 孟蘭盆会法要
9 月 22 日 土 祭 秋季彼岸会中日合同法要・動物廟法要
11 月 3 日 土 祭 当山御会式法要

正隆会 [SHORYU-kai]

月例講
ご案内

当山では、毎月第 2 土曜日午後 2 時より月例講正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人どなたでも参加できます。例会は、毎回 1 時半より正隆廟墓前法要を奉修しております。

7 月 7 日（土）	興隆学林教授平島盛龍上人 講師勉強会（都合により 7 月 14 日を日程変更しました）
8 月	休 講
9 月 8 日（土）	勉強会『心が温かくなる日蓮の言葉』拝読 5
10 月	秋のウォーク予定・日程は未定。
11 月 10 日（土）	写経会
12 月 8 日（土）	釈尊成道会三千遍唱題会・勉強会（同上）拝読 6



正隆会小江戸川越ウォーク。喜多院につづき川越藩松平家本丸御殿見学

檀信徒書道展

―ご報告―

開催日

(自) 平成24年3月17日(土) 彼岸入り
(至) 平成24年3月23日(金) 彼岸明け(最終日)

会場

妙壽寺 鍋島客殿 2階

この度、当山では初めての試みとして、檀信徒書道展を開催致しました。

昨年3月11日、未曾有の大災害となりました、東日本大震災が発生したことで多数の尊い命が奪われました。去る11日には北茨城市成願寺にて、法華宗主催による殉難・犠牲者一周忌慰霊法要が奉修されました(写真)。

顧みますと、当山は関東大震災の被害を受けたことから、大僧正日照上人の大英断により、昭和2年、深川猿江(現江東区)から現在地に寺墓を移転、昭和4年に移転落慶法要を奉修致しております。平成20年12月に、世田谷区有形指定文化財に指定されました、この旧鍋島家住宅もこの一部にあたります。このような当山と檀信徒各家の、大正昭和の東京にあつての苦難の歴史を思う時、日照上人はじめ先人の方々の復興再生への涙ぐましい努力を思わずにはられません。

今回の書道展では、特別展示と致しまして、関東大震災(大正12年9月1日)によつて烏有(全焼)に帰した当山に対し、開山日崇上人(慶長18年1613〜元禄2年1689)紺紙金泥曼荼羅御本尊が、京都大本山妙蓮寺より授与(交付)されたという、歴史的に貴重な御本尊を初めて特別にご開帳展示致しました。また、当山有縁の先師上人の遺墨、さらにこの度の東北地方の方々への復興支援にご賛同いただいた書の道を志す檀信徒皆様のご揮毫を展示させていただきます。



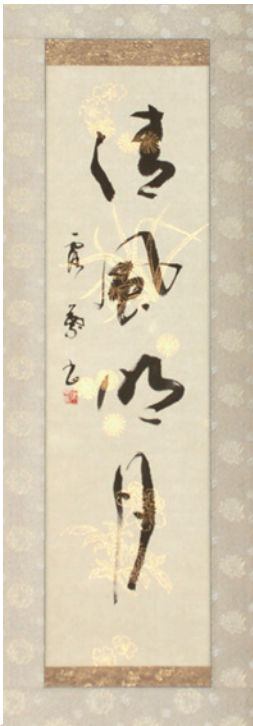
東日本大震災一周忌追悼慰霊法要

特に、平成6年東京大空襲50回忌の折に特別講演いただきました『ガラスのうさぎ』著者高木敏子さん(当山檀家)には「祈る平和」とご揮毫いただいております。

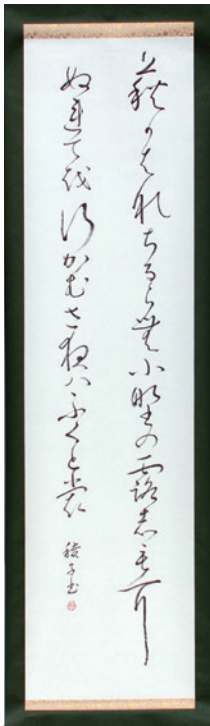
ご高覧いただきました方々にも大震災復興のためチャリティー募金箱を設け、義捐金のご協力をお願い致しました。東北地方の方々と私どもに平和で平穏な日々が訪れるよう心より祈念申し上げます。



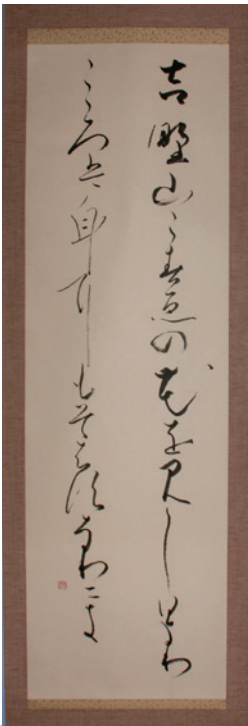
慈悲
櫻井律子(露葉)
日本書鏡院理事・審査員



清風明月
櫻井律子(露葉)
日本書鏡院理事・審査員



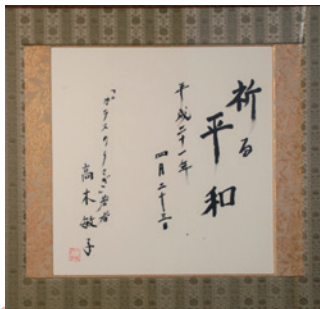
和歌
佐藤稜子



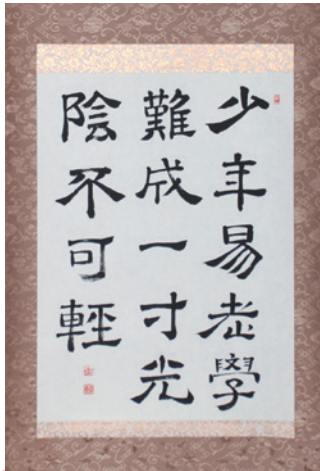
吉野山
―出典「山家集」より―
早苗靖夫(秀鳳)
現代書道院所属友書道会



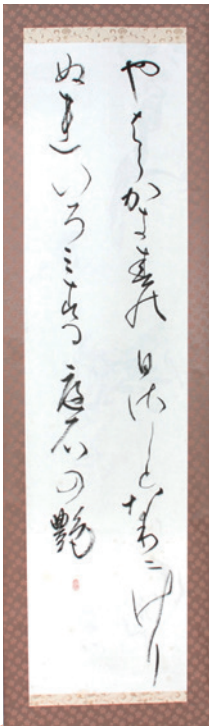
追憶
朝倉芳郎



祈る平和
高木敏子



少年易老学難
中村つゆゑ



春の庭
田中文字(涼雅)
南青山「青泉会」所属



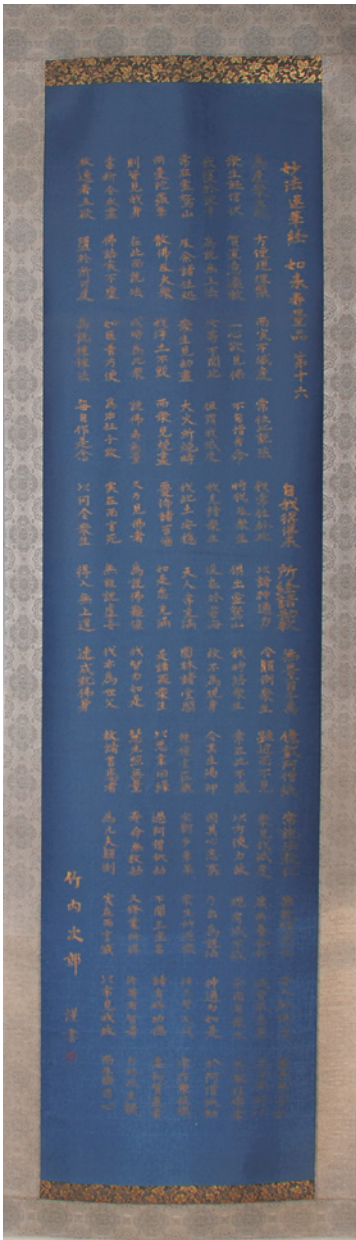
志を楽しむ
村田キクエ(菊香)
産経国際書道展・毎日書道展会友



寒山の詩
―出典「中国詩人全集」(寒山作)より―
善木トミエ



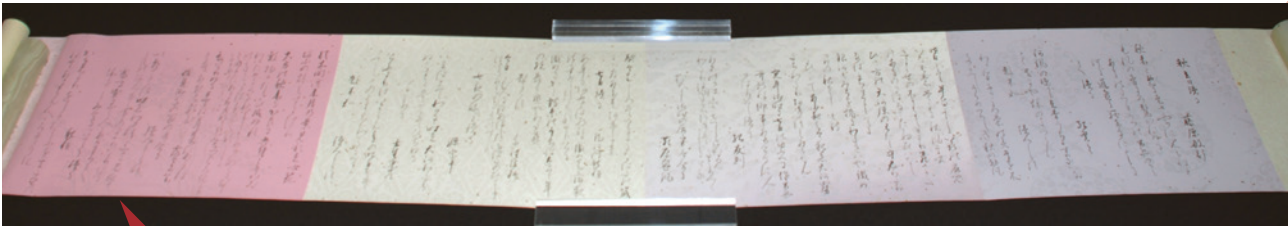
南亭懷辛大
―出典「南亭懷辛大」(孟浩然)より―
井上慶子 謙慎書道会評議員



妙法蓮華經如來壽量品第十六
竹内次郎



太平
田中義晴
萩窪篆刻会所属



和歌六首
稲生恵子(巧尚)
現代書道院所属

伝 藤原佐理筆 筋切
稲生恵子(巧尚)
現代書道院所属

